

スキルアップ研修②

リハビリテーションの視点から見た自立支援の考え方

☆課題問題

以下の①～⑨の文章が適切なものとなるよう、正しい語句を選んでください。

新型コロナウイルス感染症による高齢者の心身への影響の調査分析によると、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、高齢者の心身に交流機会の減少・活動意欲の低下・ひきこもり傾向の増長・ADLの低下・認知機能の低下・精神的負担の増加などの影響があったことがわかっている。

国は、誰もがより長く、活動的で生きがいのある生活や自分らしい人生を送れるよう、2040年までに2016年比で①

A	健康寿命を3年以上延伸する
B	介護認定率を5%減少させる

 ことを目標に掲げている。

住民主体の通いの場の数および参加率は増加傾向にあるが、通いの場をより魅力的なものとし、②

C	効果的・効率的な介護予防を進める
D	優秀な介護人材を確保する

 観点から、それぞれの年齢層や性別、関心、健康状態などに応じて参加できるように、通いの場を類型化していくべきであるという指摘もある。また、通いの場の参加率を

踏まえると、参加していない高齢者のうち、③

E	支援が必要な者を把握し
F	支援が必要な者を把握し

 介護保険の申請を前提に介護保険制度を周知する通いの場への参加を含めた必要な支援につなげる 方策も必要である。

国民生活基礎調査（2019年）で明らかとなった介護が必要となった主な要因をみると、④

G	認知症
H	悪性新生物

 、脳血管疾患（脳卒中）、⑤

I	虚血性心疾
J	高齢による

 患、骨折・転倒、⑥

K	肺炎
L	関節疾患

 の順に多い。高齢者の医療機関の受診率は80歳代前半をピークに高くなっており、介護予防の取り組みを進めるにあたっては、生活習慣病に関する疾病・重症化予防等を主な内容とする⑦

M	保健事業と連携していく
N	生活支援体制整備事業と連携していく

 ことや、⑧

O	施設ケアマネ
P	医療専門職

 の関与も重要である。

スキルアップ研修②

リハビリテーションの視点から見た自立支援の考え方

なお、こうした取り組みを進めるにあたっては、通いの場が⑨

Q	社会保
R	住民主

障費用の抑制を目指す
体で進める

ものであることに留意しつつ行うことが必要である。

以下の文章（⑩）を読み、正しい答えを選んでください。

⑩ バーセル〈Barthel〉インデックスで評価するのはどれか。

1. 栄養状態
2. 疼痛の強さ
3. 褥瘡の深さ
4. 日常生活動作
5. 呼吸困難の程度

☆課題レポート

☆ 以下の設問A又は設問Bのどちらかを選び、100文字以上180文字以内の「文書」にまとめて下さい。

設問A 貴方の担当する事例の中で、リハビリテーションを導入して自立支援に繋げたい事例がある場合、① アセスメントで気を付けたい点
② 課題の抽出で気を付けたい点を論じてください。

設問B 貴方が地域に継続性のある「通いの場」を設置しようとする時、気を付けたい点を3点以上挙げて論じてください。